新 潟 労 働 局 発 表
平 成 29 年 3 月 3 日

新潟労働局職業安定部職業安定課
職 業 安 定 課 長　　平田　　保
職業安定課長補佐　　星野　　浩
地方労働市場情報官　　佐藤　和彦
TEL：025-288-3507　（夜間）025-288-3540

報道関係者各位

北陸ブロック内雇用情勢報告（平成 28 年 10～12 月四半期分）について

北陸ブロック（新潟県、富山県、石川県、福井県）内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告（平成 28 年 10～12 月四半期分）について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期毎の雇用情勢等について全国のブロック毎に公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

※　公表内容について

・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものであり、今回は人材不足分野に対する企業の取組を掲載しました。

・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回は訓練担当窓口の担当者が感じた声を掲載しました。

機密性2

北陸ブロックの雇用動向

【平成28年10－12月期の雇用情勢判断】
「雇用情勢は、改善している」（上方修正）

	平成28年10－12月期						
	就業地別 有効求人倍率 【季調値】（対前期差）（単位:倍、ポイント）	受理地別 有効求人倍率 【季調値】（対前期差）（単位:倍、ポイント）	新規求人数 増減率 【季調値】（対前期比）（単位:%）	新規求職者数 増減率 【季調値】（対前期比）（単位:%）	正社員 有効求人倍率 【原数値】（対前年同期差）（単位:倍、ポイント）	雇用保険 被保険者数 増減率 【原数値】（対前年同期比）（単位:%）	雇用保険 受給者実人員数 増減率 【原数値】(対前年同期比)（単位:%）
北陸ブロック	1.60 (0.02)	1.54 (0.02)	1.9	0.0	1.11 (0.13)	0.9	▲7.2
新潟県	1.38 (0.01)	1.34 (0.00)	0.0	0.7	0.95 (0.10)	0.6	▲7.3
富山県	1.83 (0.04)	1.66 (0.04)	3.2	▲0.7	1.23 (0.11)	0.9	▲6.2
石川県	1.67 (0.05)	1.66 (0.04)	4.7	1.7	1.18 (0.14)	1.5	▲8.8
福井県	1.94 (0.04)	1.89 (0.06)	1.4	▲4.1	1.38 (0.24)	0.9	▲5.7

※　雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

○ 糸魚川市の大規模火災の対応
・被災事業所５４事業所（うち、雇用保険適用事業所は１９事業所）からハローワークへの相談は、商工会議所等の関係機関を通じたものを含め5件。
（内容：雇用保険の特例措置２件、雇用調整助成金１件、廃業手続き1件、所在地変更手続き１件）
・被災地域の雇用保険受給者は1名、関係書類焼失のため再発行を行った。
○富山県の電子部品製造業で100人の増員求人
・今後の海外需要を見込み、昨年年11月に工場を増設し、製造ラインオペレータを増員するもの。
スマートフォン関係が伸び悩む中、引き合いの強い高機能部品を生産している。
○富山県の自動車部品製造業で雇用調整実施予定。
・大手自動車メーカのエンジンを主に製造しているが、国内販売の低迷とエンジンの小型化による価格下落のため売上減少となり、150人の希望退職を募る。

企業の生の声

○地域の人材不足分野に対する企業の取組について
・院内保育所の新設や拡大、学童保育施設の設置や保育料の補助を行う等の従業員の子育て支援の実施、介護用機器の導入により職場環境の改善、ライフバランスにあった勤務形態（日勤のみ、パート勤務等）の導入。【医療・福祉業】
・従業員の希望に沿った勤務時間・形態の導入や部門の連携強化【宿泊業】
・一部の販売職種に限り、入社祝い金制度を設置。【小売業】
・育児休暇取得後の子供の成長に合わせた勤務時間の配慮及び短時間パート社員から正社員へ転換促進。【建設業】
・男性が多かった製造現場に女性のための休憩室を設置【建設機械製造業】
・賃金の下限引き上げを含めた賃上げの検討【金属製品製造業】【電子部品製造業】

訓練担当窓口の声

○どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか
・訓練入校時から知識・技能・資格の習得だけでなく労働市場を理解した上で、修了後にどのような求人へ応募をするか等、具体的に就職目標の方向性がより明確になっている求職者は意欲が高く就職に結びついていると感じている。
・挨拶・協調性などの社会性が身についている方でないと知識・技能・資格を身に付けたとしても採用に至らない。
○求職者の重視している要素はどの様なものがあるか
・訓練受講により身に付けられる知識・技能・資格を活かせる関連職種の求人・就職状況を重視してる。幅広い職種で活用できるＰＣ系訓練、医療事務などは応募者が多い傾向。
・訓練中の生活保障（雇用保険、訓練受講給付金）や、家庭と訓練の両立を考えた通学のしやすさを重視している求職者も見られる。
○最近の求職者の特徴的な動きはないか、その他、選定したターゲットの属性に応じた項目
・雇用環境の改善により、企業側も人材確保のために賃金を上げたり経験不問にする等、求人条件を見直ししている状況であることを背景に、①訓練を受講せずに早期就職を目指す求職者、②訓練を受講した上でじっくり就職先を探す求職者の二極化がはっきりしてきていると感じており、そのため全体的に訓練受講希望者が減少している。
一定程度の職業経験やスキルを持っている求職者は、訓練受講よりも早期再就職を重視する傾向にある。
・訓練中から積極的に就職活動を行う訓練生が増加したため、一部に就職による中途退校者や早期修了者が出ている。